

福岡県立玄洋高等学校 CAN-DO リスト

	READING	LISTENING	WRITING	SPEAKING
一 学 年 前 半	50～60 語程度（コミ I 教科書の前半部分の 1 ページ語数）で書かれた身近な話題についての文章（個人的な手紙など）を、辞書を引いたり教師の援助を参考にしたりしながら読めば、概ね内容を理解することができる。	数字、曜日、月、年などの平易な表現や、日常生活で用いるあいさつや受け答えなどの簡単な表現を、ゆっくりはっきり繰り返し放送されれば概ね理解することができる。	アルファベットを大文字小文字を含めて正しく書くことができ、それらを用いた数字、曜日、月、年などの平易な表現であれば 1 文程度以上の英語で書くことができる。	写真や絵などを参考にして、メモや教師の援助があれば、身近なトピック（好きなもの、自己紹介、学校や地域など）について、簡単な語彙や文を使って短い話をするすることができる。
一 学 年 後 半	60～70 語程度（コミ I 教科書の中盤から後半部分の 1 ページ語数）で書かれた身近な話題についての文章（日常生活や文化の紹介などの説明文）を、辞書を引いたり教師の援助を参考にしたりしながら読めば、ほぼ内容を理解することができる。	数字、曜日、月、年などを用いた表現や、日常生活で用いるあいさつや受け答えに加え自己紹介などに用いる表現を、ゆっくりはっきり放送されればほぼ理解することができる。	数字、曜日、月、年などの平易な表現や、自己紹介などの基本的な内容を述べた表現であれば、予定や手紙、日記など、1 文から 3 文程度の英語で書くことができる。	写真や絵などを参考にして、メモや教師の援助があれば、自分に関わりのある出来事や身近なトピック（好きなもの、自己紹介、学校や地域など）について、簡単な語彙や文を使って短い話をし、相手にほぼ自分の意図を伝えることができる。
二 学 年 前 半	100 語程度の身近な話題（簡単な伝記や昔話など）のの流れや、要点を、辞書を引いたり、文法事項の解説を参考にしたりしながら、概ね理解できる。	簡単なアナウンスや身近な話題を、ゆっくりと話されれば、概ね理解できる。また、よく使われる表現ならば、単語がつながって発音されてもほぼ理解できる。	自分に関することや、興味のあることについて、接続詞を用いて 5 文程度で書くことができる。	自分に関することや、身の回りのことについて、理由等をつけて説明することができる。また、相手に対しては簡単な相槌(I see / Really?)をすることができる。
二 学 年 後 半	150 ～ 200 語程度の簡単な説明文や、やさしい物語を、辞書を引いたり、文法事項の解説を参考にしたりしながら、ほぼ正確に理解することができる。	簡単な道案内や日常生活の話題について、ゆっくりと話されれば、概ね理解できる。また、必要な情報を適宜メモしながら聞くことがほぼ理解できる。	簡単な手紙や電子メール文を、定型文の活用や、辞書等を参考にしながら、適切な英語で 5 文から 7 文程度書くことができる。	絵や写真を見て、その情景を簡単な表現で説明することができる。定型文を参考にしながら、簡単な依頼や誘い、質問することが概ねできる。
三 学 年 前 半	200～300 語程度で書かれた社会的な話題についての文章を、各段落の要点を押さえながらであれば、概要を理解することができる。	日常生活での話題や簡単な説明・指示を、必要に応じてゆっくり話してもらったり、繰り返してもらったりすることができないか依頼することで、概ね理解することができる。	自分の好きなことについて、辞書等を参考にしながら、理由を含めて 3 0 語以上の英語で書くことができる。	自分のこと（将来の夢や希望、趣味など）について、理由や具体例を含めながら、相手に伝えることができる。また、適切な反応（簡単な相槌や簡単な質問）をすることができる。
三 学 年 後 半	300～400 語程度で書かれた社会的な話題についての文章を、各段落の要点を押さえながらであれば、概要を理解したり、図や表から必要な情報を読みとったりすることができる。	日常生活での簡単な情報・説明やまとまりのある内容を、必要に応じてゆっくり話してもらったり、繰り返してもらったりすることができないか依頼することで、ほぼ理解することができる。	社会的な話題に対する自分の意見を、辞書等を参考にしながら、理由や具体例を含む 5 0 語程度の英語で書くことができる。	社会的な話題に対する自分の意見を、必要に応じてメモを参考にしながら、理由を含めて相手に伝えることができる。